

沿革

- 昭和17年4月： 中島飛行機株式会社の協力会社(個人組織)として発足
- 昭和20年8月： 終戦と同時に休業
- 昭和21年4月： 大日本機械株式会社の協力会社として自動車部品の製造を開始する
- 昭和22年3月： 上記の製造を中止とする
富士産業(現 株式会社SUBARU)の協力会社としてスクーター部品
フレーム、足回り部品(切削加工)の製造を開始する
- 昭和35年4月： 自動車機器株式会社(現 日立オートモティブシステムズ株式会社)との
取引を開始し、ブレーキ関係、プレス加工部品、切削部品を製造する
- 昭和35年6月： 株式会社落合鉄工所を設立する
- 昭和43年10月： 萬自動車工業株式会社の協力会社となり、プレス機械、溶接によりマニーホルドの
製造を開始する
- 昭和43年11月： 富士重工業株式会社(現 株式会社SUBARU)群馬製作所スクーター部門廃止に伴い
取引を中止する
- 昭和44年10月： 第二工場(現 北棟工場)をプレス加工として新設
自動車機器株式会社(現 日立オートモティブシステムズ株式会社)向け
ブレーキ倍力装置のシェル(ボディー)の製造を開始する
- 昭和50年5月： 萬自動車工業株式会社発注製品移管のため取引を中止する
- 昭和63年2月： 株式会社ギャレットターボ(現 ハネウェルジャパン株式会社)との取引を開始し、ターボ
チャージャー切削部品の製造を開始する
- 平成9年2月： 東洋エクステリア株式会社(現 株式会社LIXILグループ傘下TOEX)との取引を開始し、
アルミフェンス等の加工組立を開始する
- 平成11年7月： 広島アルミニウム工業株式会社との取引を開始する
- 平成12年7月： 森川産業株式会社との取引を開始する
- 平成12年12月： 株式会社キッツエスシーティーとの取引を開始し、半導体製造用バルブの切削部品
製造を開始する
- 平成13年8月： 日立粉末冶金株式会社(現 日立化成株式会社)との取引を開始し、エンジン関係の
切削部品製造を開始する
- 平成13年12月： ISO9001を認証取得する
- 平成14年12月： ISO14001を認証取得する
- 平成15年2月： 株式会社キリウとの取引を開始し、ブレーキ切削部品の製造を開始する
- 平成17年5月： 第二工場(北棟工場)を精密切削加工として稼働開始する
- 平成18年4月： 三菱重工業株式会社との取引を開始する
- 平成19年12月： 群馬県1社1技術に認定される

- 平成20年2月： 第二工場(南棟工場)を新設する
- 平成25年1月： 大同精密工業株式会社との取引を開始する
- 平成26年4月： 第二工場(北棟工場)を改修工事する
- 平成28年1月： 自動車部品工業株式会社との取引を開始する
- 平成28年10月： 株式会社IHIとの取引を開始する
- 平成29年5月： 大同精密工業株式会社より車載用バルブの加工技術及び量産立上げ、増産対応について表彰(感謝状)を受ける
- 平成30年4月： 日立オートモティブシステムズ株式会社より生産変動への迅速対応による安定供給について生産対応賞を受ける。